

**特集** 平成30年度 枕崎市政の動きは…【一般会計予算(肉付け後)】

今回の補正を歳出の性質別に見ると

**■投資的経費**  
 投資的経費とは、支出の効果が資本形成に向けられ、道路建設など将来に残るものに支出される普通建設事業や災害復旧事業費などの経費です。投資的経費の補正は、主なものとして、防災行政無線整備事業など公共施設等の老朽化対策に取り組み、補正額全体の81.4%に相当する8億9,262万6千円を計上し、肉付け後の投資的経費は15億9,818万8千円となり、予

**■その他の経費**  
 その他の経費とは、投資的経費及び義務的経費以外の経費です。その他の経費の補正は、1億9,645万8千円で、肉付け後は36億2,595万2千円となり、予算総額の32.2%を占め、前年度当初予算との比較で13.4%の増となりました。これは、ふるさと応援寄附金が前年度当初予算と比較して大幅増を見込んでいること等により、ふるさと納税返礼事業の事務費やふるさと応援基金への積立金が増加していることなどによるものです。

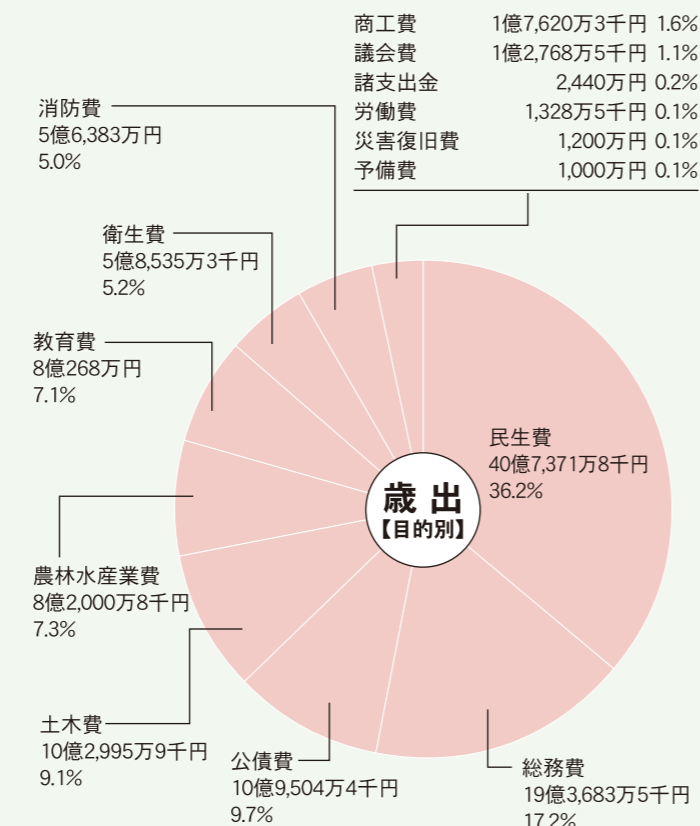
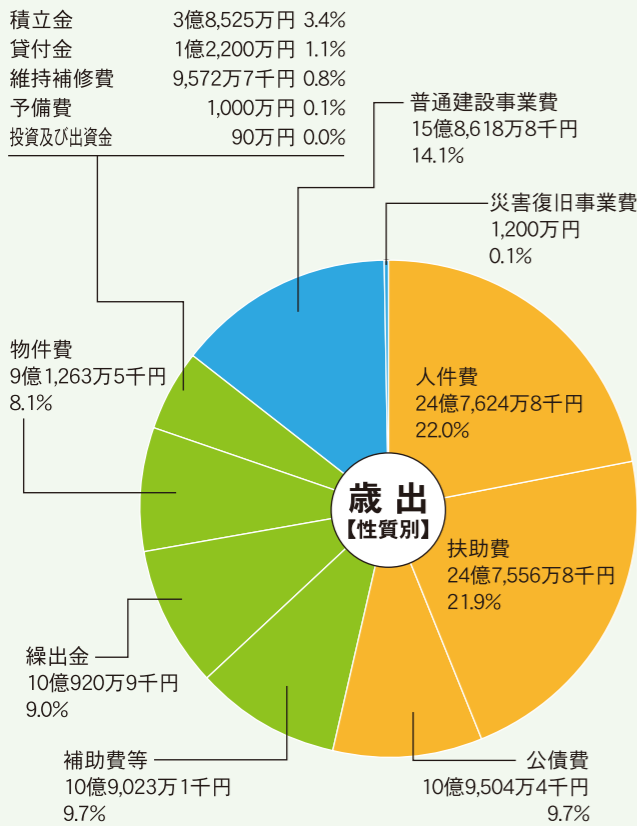
**■義務的経費**  
 義務的経費とは、歳出のうちその支出が義務付けられ、任意に削減できない極めて硬直性の強い経費です。義務的経費の補正は、人事異動に伴う人件費の増減などで、7,511万6千円の補正を行ったことで、肉付け後は60億4,686万円となり、予算総額の53.6%を占め、前年度当初予算との比較で0.5%の増となりました。

**予算の肉付けとは**  
 平成30年度当初予算は、市長就任後間もないため、政策に係る収支を除いた人件費等の義務的経費や継続的業務を中心に必要最小限の収支のみを計上した「骨格予算」でスタートしました。今回の6月補正では、投資的経費などの政策的な経費等を追加する「予算の肉付け」を行い、その結果、当初予算額と補正予算額を合わせた肉付け後の一般会計予算額は112億7,100万円、前年度当初予算と比較すると8.3%の伸びとなり、実質的に3年ぶりのプラス予算となりました。

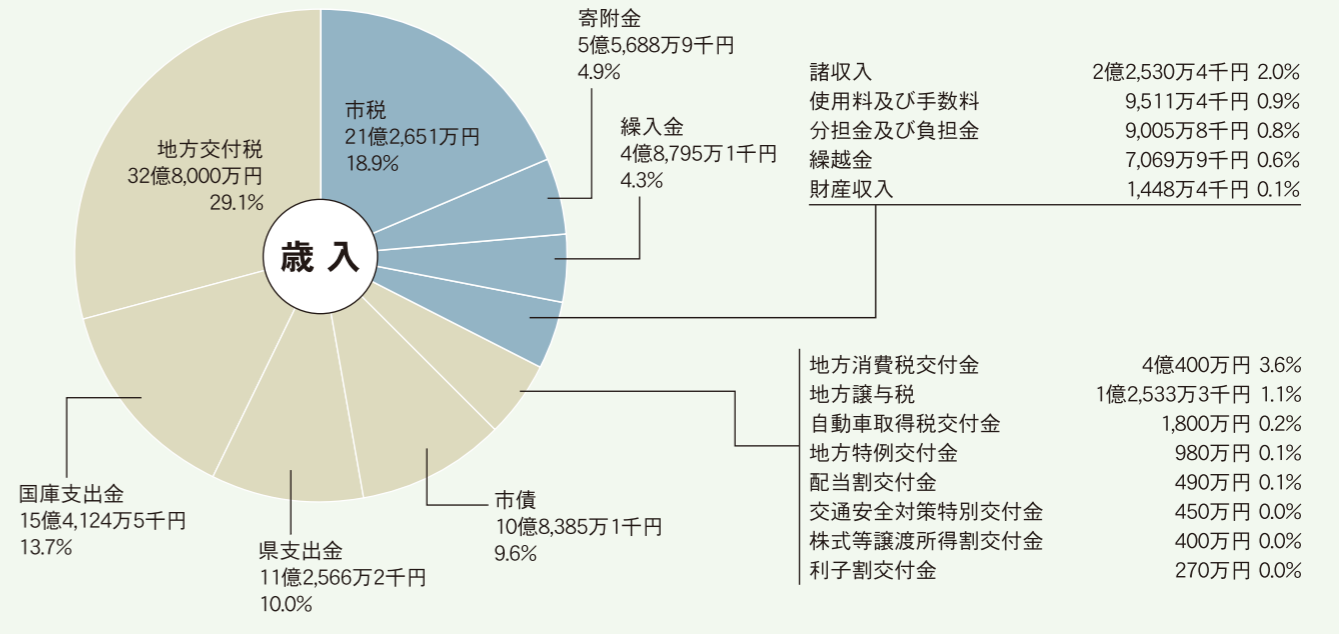
算総額の14.2%を占めています。肉付け後の投資的経費は、当初予算との比較では12.6%の伸びとなり、前年度当初予算との比較でも34.3%の増となりました。

# 平成30年度 一般会計予算(肉付け後)は 112億7,100万円

平成30年度一般会計予算額(肉付け後)は112億7,100万円となり、前年度当初予算に比べ8億6,600万円の増となりました。ここでは、一般会計の予算額(肉付け後)の歳入・歳出の内訳をお知らせします。



## 平成30年度 一般会計予算(肉付け後) 歳入・歳出の内訳



- 義務的経費 60億4,686万円 (53.6%)
- 投資的経費 15億9,818万8千円 (14.2%)
- その他の経費 36億2,595万2千円 (32.2%)

●前年度予算との比較(性質別)

	30肉付け後	29当初
義務的経費	53.6%	57.9%
投資的経費	14.2%	11.4%
その他の経費	32.2%	30.7%

■自主財源 36億6,700万9千円 (32.5%)

市税など市が自分の手で調達できる収入。この財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できるといえます。

■依存財源 76億399万1千円 (67.5%)

地方交付税や国・県支出金などのように、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入。

●前年度予算との比較

	30肉付け後	29当初
自主財源	32.5%	30.8%
依存財源	67.5%	69.2%